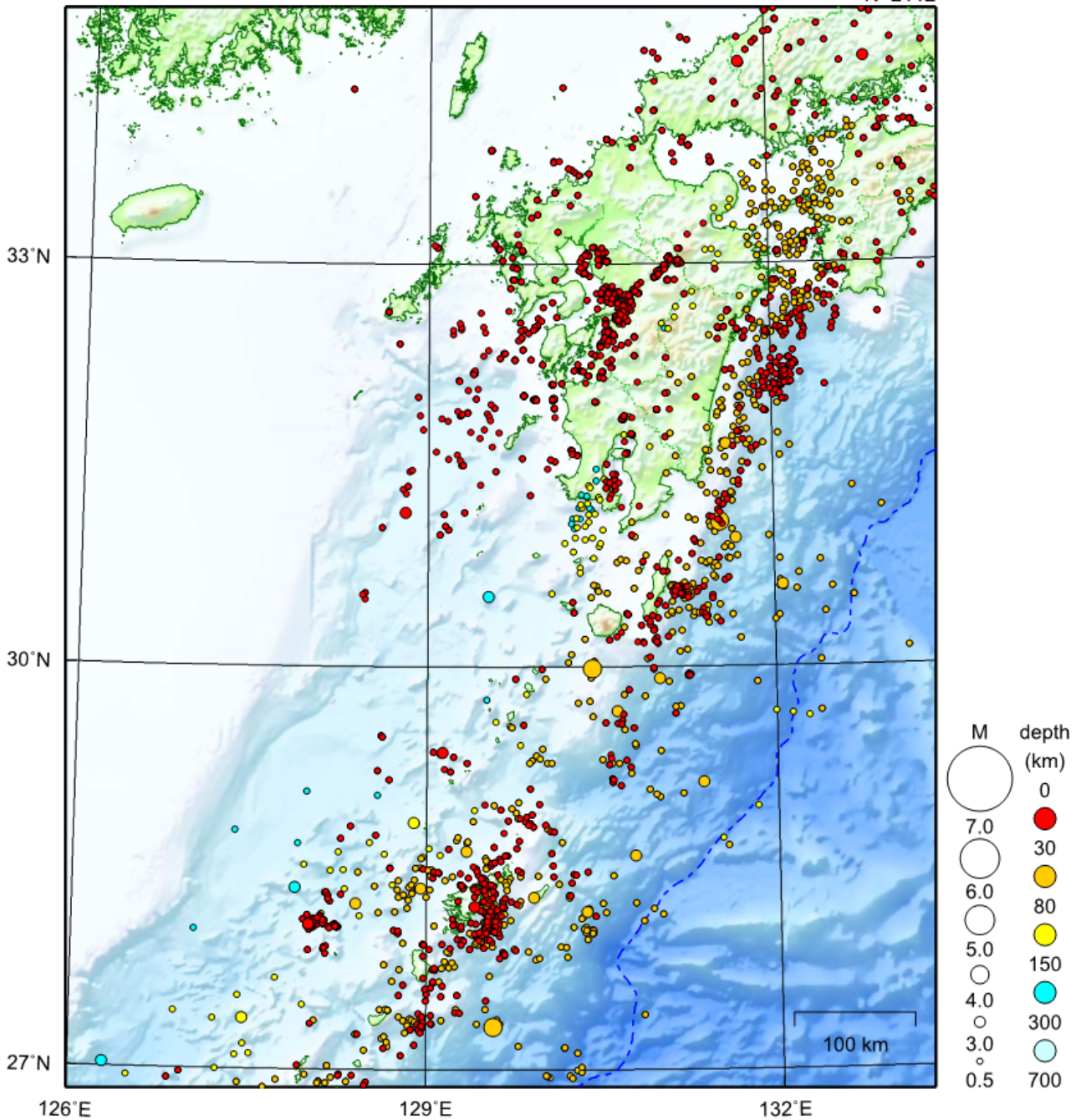


# 九州地方

2019/04/01 00:00 ~ 2019/04/30 24:00

N=2112



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

特に目立った地震活動はなかった。

(上記期間外)

5月10日07時43分に日向灘でM5.6の地震(最大震度3)が発生した。また、同日08時48分にほぼ同じ場所でM6.3の地震(最大震度5弱)が発生した。

5月11日に日向灘でM5.0の地震(最大震度4)が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

# 5月10日 日向灘の地震

5月10日08時48分に、日向灘でM6.3の地震(深さ25km、最大震度5弱、今回の地震①)が発生した。この地震の発生前の同日07時43分にほぼ同じ場所でM5.6の地震(深さ25km、最大震度3、今回の地震②)が発生した。これらの地震は、いずれも発震機構(CMT解、速報解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。07時43分の地震発生以降、付近でややまとまった活動となっている。

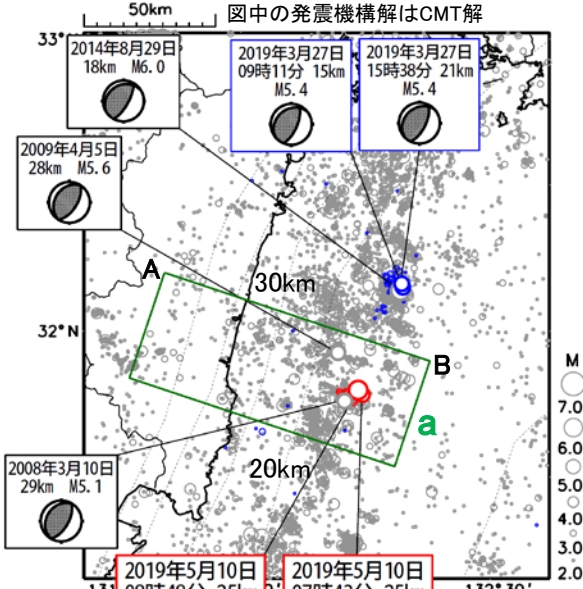
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b内)は、定常的に地震活動が見られ、2009年4月5日にM5.6の地震(最大震度4)が発生した。日向灘では、2019年3月27日にM5.4の地震が2回発生したが、今回の地震は、3月27日の地震とは異なる場所で発生した。

1922年以降の日向灘の地震活動を見ると、M5.0以上の地震はしばしば発生している。M6.5以上の地震も時々発生しているが、1997年以降は発生していない。M6.0以上の地震が発生したのは、2014年8月29日のM6.0の地震(最大震度4)以来であった。

震央分布図

(1997年10月1日～2019年5月10日09時、M $\geq$ 2.0、深さ0～80km)

青:2019年3月27日～5月9日、赤:5月10日



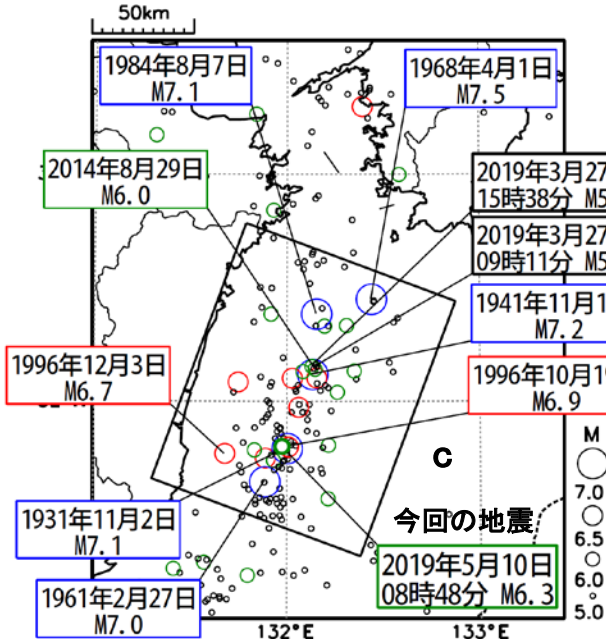
今回の地震① 今回の地震②

※震央分布図中の点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

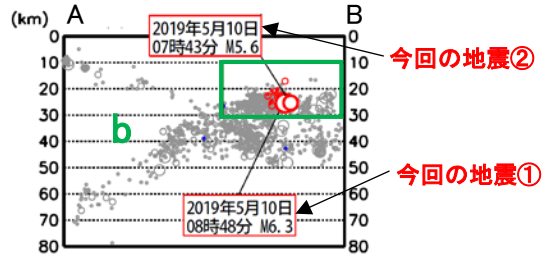
震央分布図

(1922年1月1日～2019年5月10日09時、M $\geq$ 5.0、深さ0～100km)

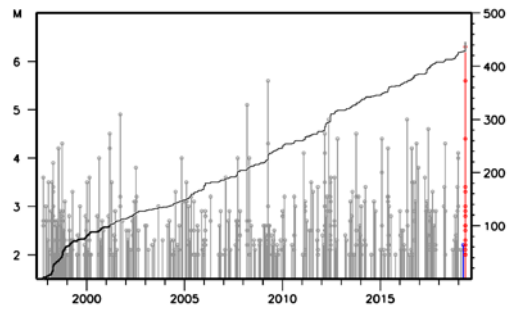
黒:5.0 $\leq$ M<6.0、緑:6.0 $\leq$ M<6.5、赤:6.5 $\leq$ M<7.0、青:7.0 $\leq$ M



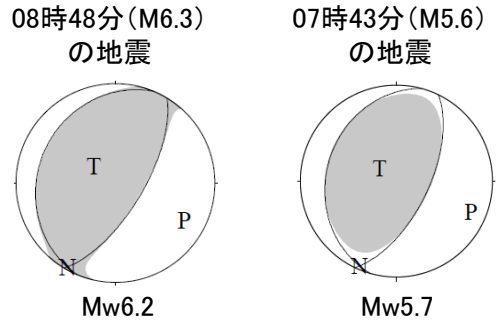
領域a内の断面図(AB投影)



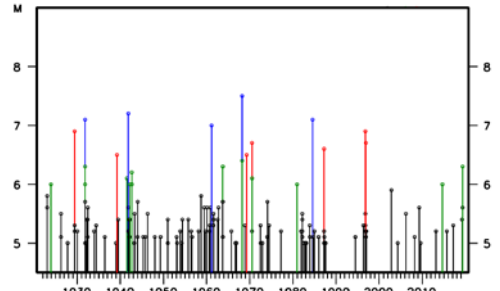
領域b内のM-T図及び回数積算図



今回の地震の発震機構解(CMT解)



領域c内のM-T図



※M7.0以上の地震、1990年以降に発生したM6.0以上の地震、2019年の地震(今回の地震は最大規模の地震)に吹き出しを付加している。

※5月9日以降の地震の震源要素、今回の地震の発震機構解は今後の精査で変更する可能性がある。

# 5月11日 日向灘の地震

5月11日08時59分に、日向灘でM5.0の地震(深さ36km、最大震度4が発生した。この地震は発震機構が東西方向に張力軸を持つ型でフィリピン海プレート内部で発生した。

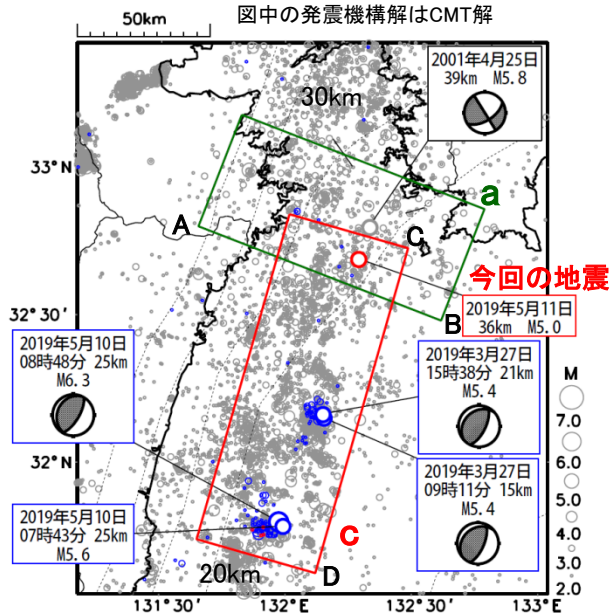
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b内)は、定常的に地震活動が見られ、2001年4月25日にM5.8の地震(最大震度4)が発生した。日向灘では、2019年5月10日にM6.3の地震が発生したが、今回の地震は、5月10日の地震とは北北東に約100km離れた場所で発生した。

震央分布図

(1997年10月1日~2019年5月11日、M $\geq$ 2.0、深さ0~80km)

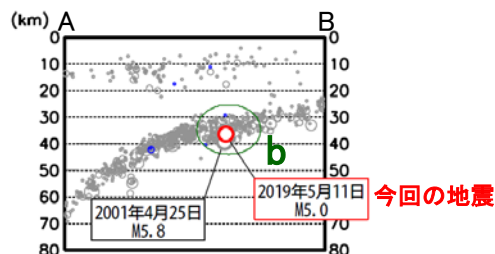
青: 2019年3月27日~5月10日、赤: 5月11日

図中の発震機構解はCMT解

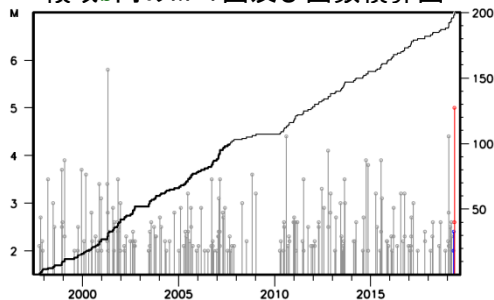


※震央分布図中の点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

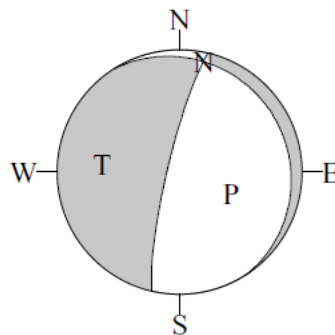
領域a内の断面図(AB投影)



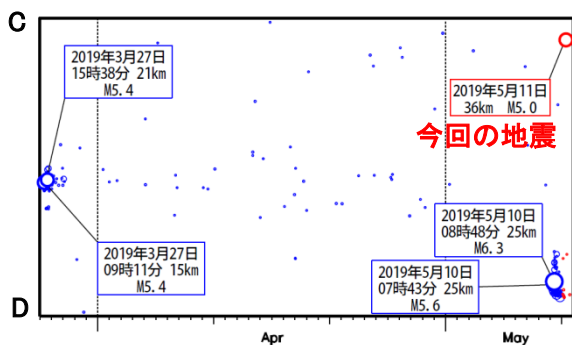
領域b内のM-T図及び回数積算図



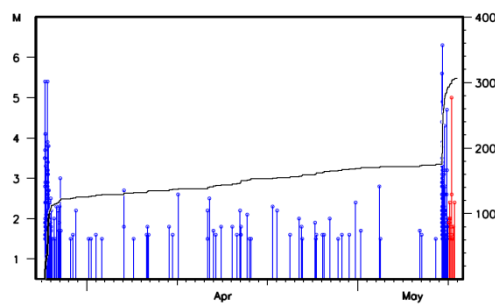
今回の地震の発震機構解(CMT解)



領域c内の時空間分布図  
(2019年3月27日~5月11日、M $\geq$ 1.5)



領域c内のM-T図及び回数積算図  
(2019年3月27日~5月11日、M $\geq$ 1.5)



※5月11日以降の地震の震源要素、今回の地震の発震機構解は今後の精査で変更する場合があります。